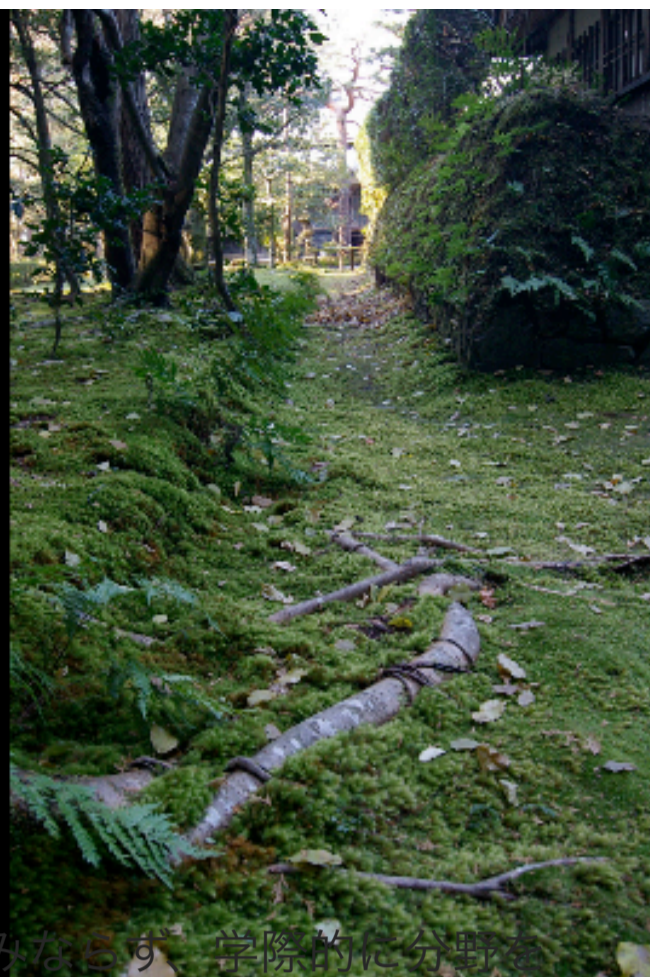


第二回
次世代の
物質科学・ナノサイエンスを探る



物質科学に必要不可欠なイノベーションは既存の研究領域の発展のみならず、学際的に分野を横断した取り組みが必要不可欠である。そのためには、新研究領域開拓のために幅広い研究者との交流を継続していくことが重要である。そこで本シンポジウムでは、物質科学に携わる研究者を幅広く募り議論の場を設けることで、今後の10年で目指すべき物質科学の方向性を探っていく。

日時 2013年1月11日（金）
場所 北海道大学百年記念会館

参加費 一般 1000円 学生 無料
懇親会費 5000円

14:00-14:05	開会の辞	内藤昌信	物質・材料研究機構
14:05-14:55	蛋白質の構造・揺らぎ・機能を「3D-RISM顕微鏡」で見る	平田文男	立命館大学
14:55-15:15	水溶性高分子の近接相互作用と感熱応答性	勝本之晶	広島大学
15:15-15:30	コーヒーブレイク		
15:30-16:20	濡れ現象の熱力学的考察	眞山博幸	旭川医科大学
16:20-16:40	波長選択的な自己集積体の巨視的回転運動制御	景山義之	北海道大学
16:40-17:00	棒状高分子電解質自己組織化を通じた新規材料の創製	敷中一洋	東京農工大
17:00-17:20	プロトンポンプを模倣した熱駆動イオン輸送システムの開発	星野 友	九州大学
17:20-17:40	巨大分子の自己組織化を考えるためのエネルギー論	原野雄一	大阪大学
17:40-17:45	閉会の辞	角五 彰	北海道大学
18:00-20:00	懇親会		

世話人

内藤昌信（独）物質・材料研究機構
角五彰 北海道大学
勝本之晶 広島大学

主催 「次世代の物質科学・ナノサイエンスを探る」研究会
共催 北海道大学大学院工学研究院フロンティア化学教育研究センター